

12. ウイルス性肝炎対策について

問49 B型及びC型肝炎ウイルス検査について

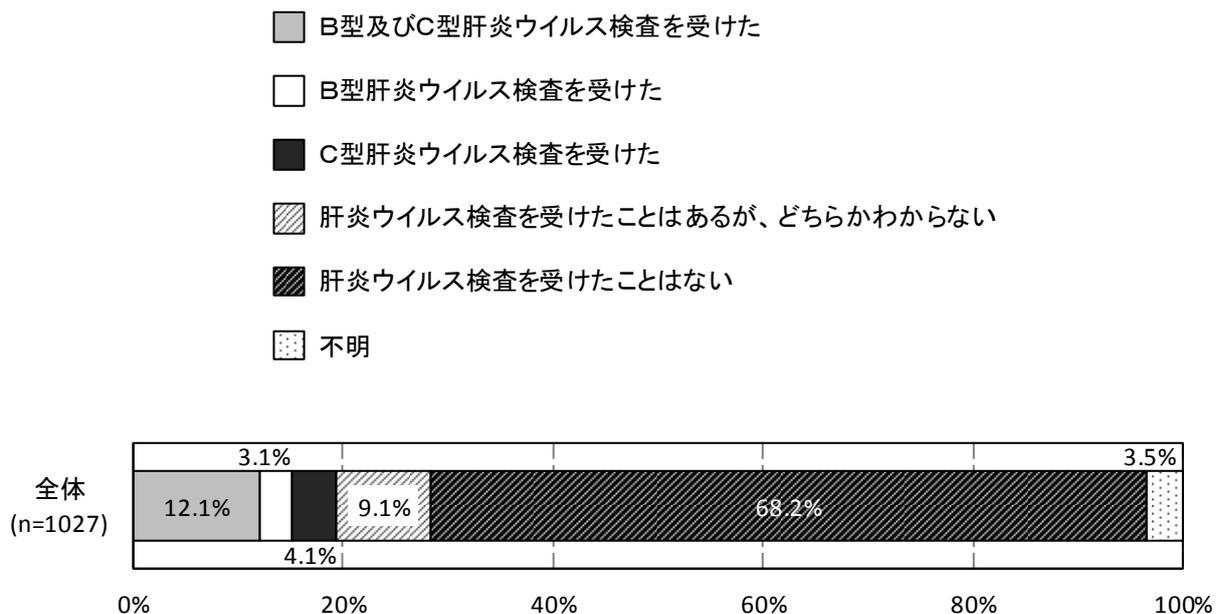
問49 あなたは、B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けた
2. B型肝炎ウイルス検査を受けた
3. C型肝炎ウイルス検査を受けた
4. 肝炎ウイルス検査を受けたことはあるが、どちらかわからない
5. 肝炎ウイルス検査を受けたことはない

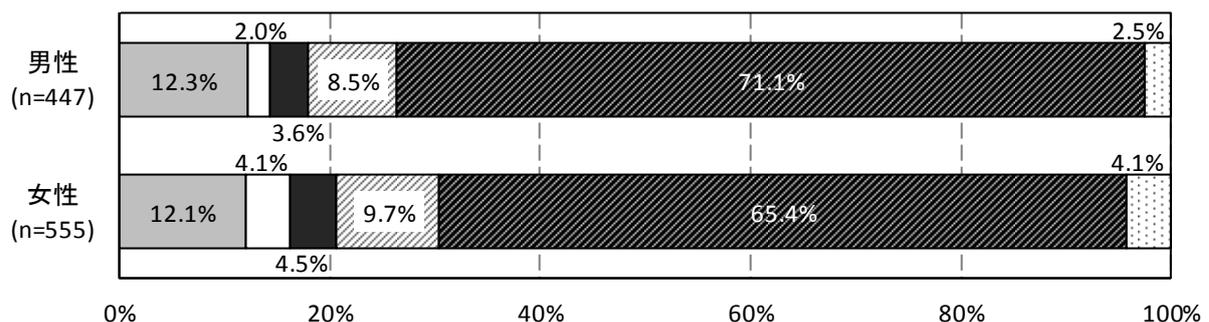
B型及びC型肝炎ウイルス検査について、「B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けた」(12.1%)と「B型肝炎ウイルス検査を受けた」(3.1%)と「C型肝炎ウイルス検査を受けた」(4.1%)と、「肝炎ウイルス検査を受けたことはあるが、どちらかわからない」(9.1%)の受診率は28.4%となっている。

男女別にみると、受診率は女性(30.4%)が男性(26.4%)より4.0ポイント上回っている。

年代別にみると、受診率は50～59歳が39.5%と最も高く、次いで40～49歳が38.3%となっている。

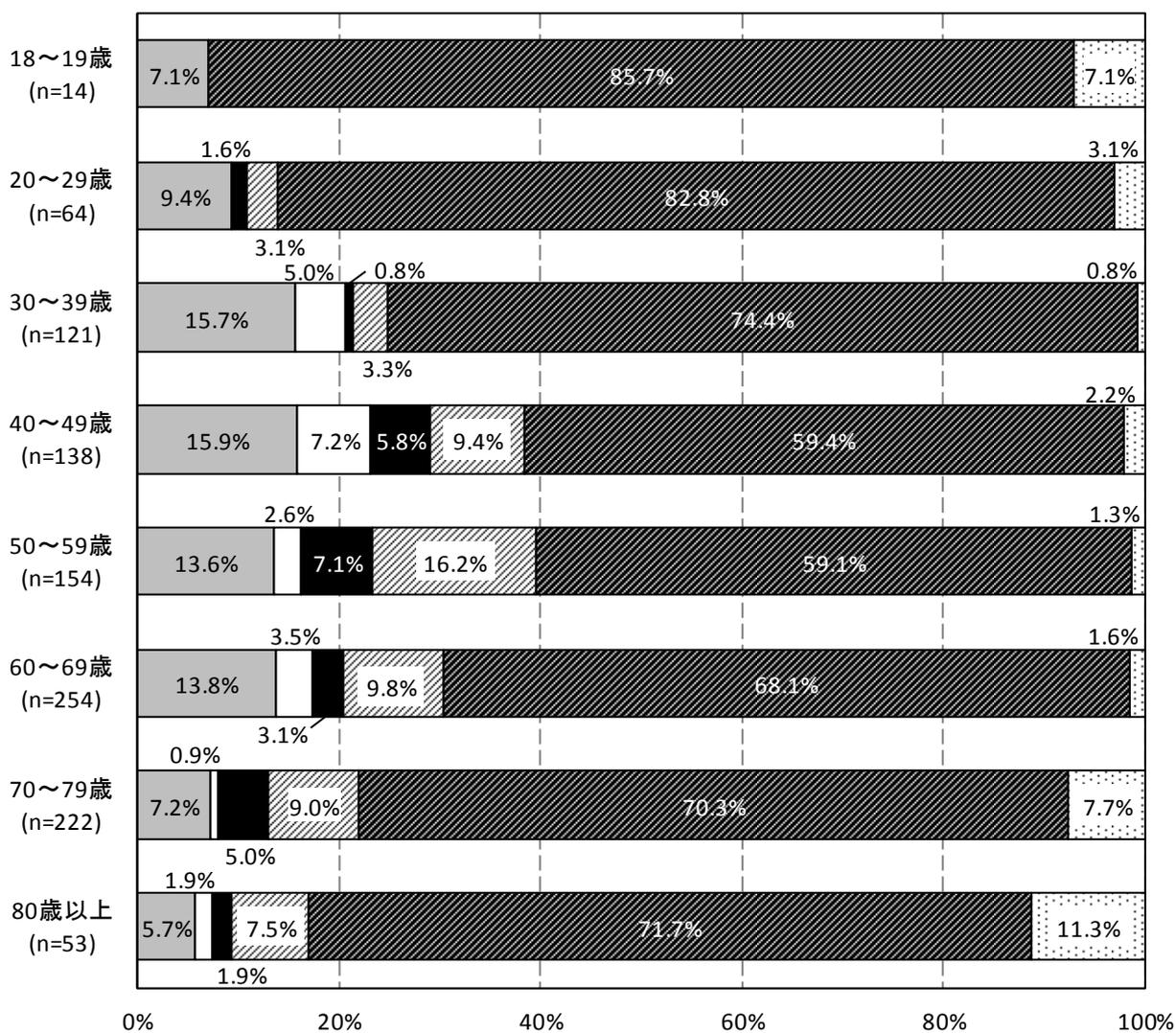


<男女別>



- B型及びC型肝炎ウイルス検査を受けた
- B型肝炎ウイルス検査を受けた
- C型肝炎ウイルス検査を受けた
- ▨ 肝炎ウイルス検査を受けたことはあるが、どちらかわからない
- ▩ 肝炎ウイルス検査を受けたことはない
- ◻ 不明

<年代別>



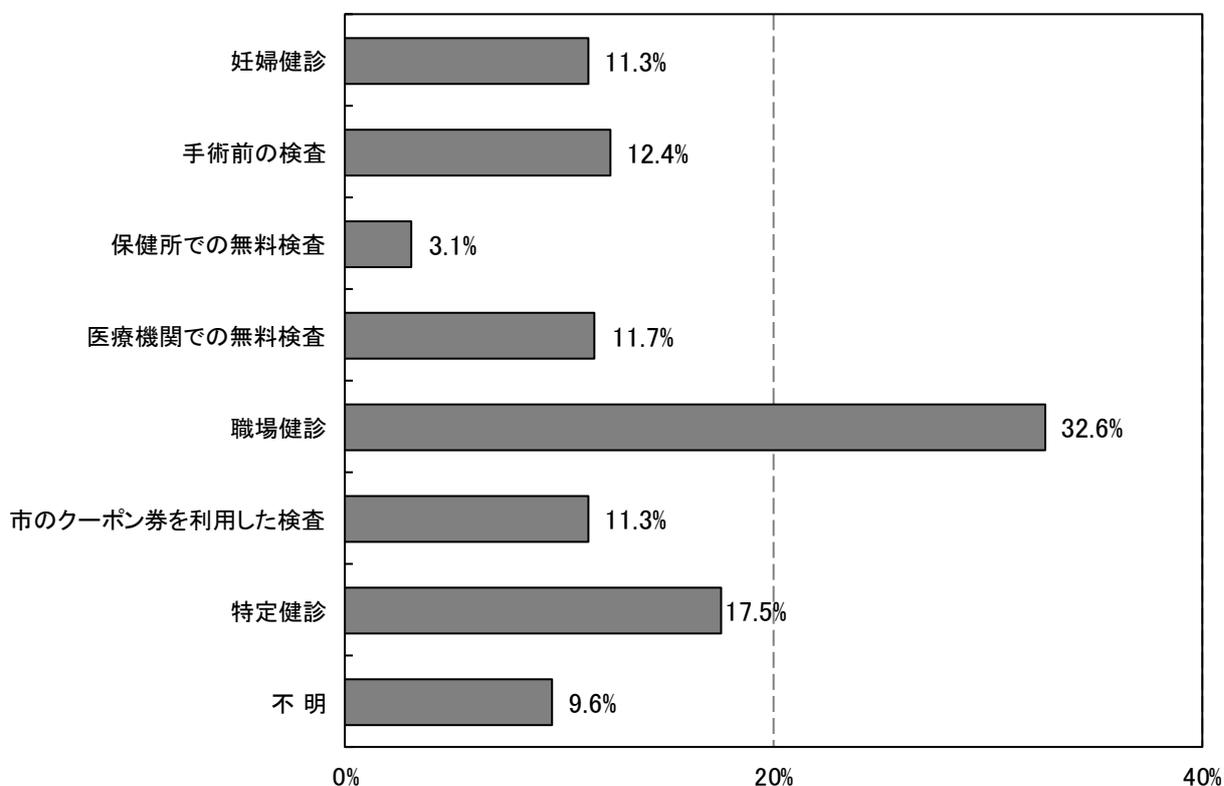
問 49-1 肝炎ウイルス検査の受診について

問 49-1 問 49 で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答された方のみお答えください。
あなたは、肝炎ウイルス検査はどのような機会に受けましたか？あてはまるものを全て
お選びください。

1. 妊婦健診
2. 手術前の検査
3. 保健所での無料検査
4. 医療機関での無料検査
5. 職場健診
6. 市のクーポン券を利用した検査
7. 特定健診

問49で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答した291人について、肝炎ウイルス検査を受診した理由は、「職場健診」が32.6%と最も多く、次いで「特定健診」(17.5%)、「手術前の検査」(12.4%)の順となっている。

n=291



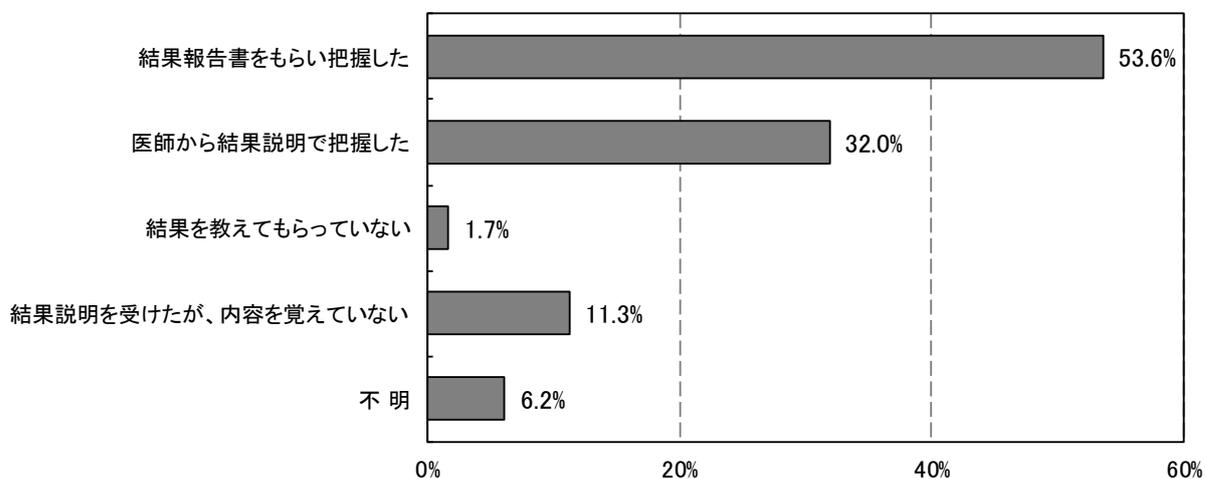
問 49-2 検査結果の把握状況

問 49-2 問 49 で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答された方のみお答えください。
あなたは、検査結果を把握していますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 結果報告書をもらい把握した
2. 医師から結果説明で把握した
3. 結果を教えてもらっていない
4. 結果説明を受けたが、内容を覚えていない

問49で「肝炎ウイルス検査を受けたことがある」と回答した291人について、検査結果の把握状況は、「結果報告書をもらい把握した」が53.6%と最も多く、次いで「医師から結果説明で把握した」(32.0%)、「結果説明を受けたが、内容を覚えていない」(11.3%)の順となっている。

n=291



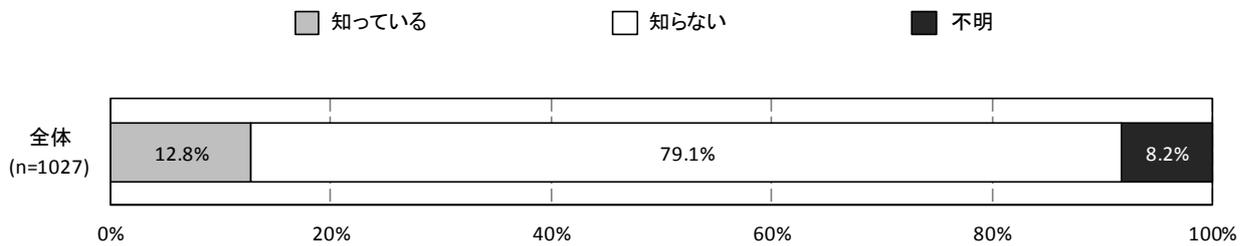
問 50 無料肝炎ウイルス検査実施の認知度

問 50 あなたは、和歌山市保健所で「肝炎ウイルスの感染の恐れがあったが、今まで検査を受けたことがない方」を対象に無料の肝炎ウイルス検査を実施していることを知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

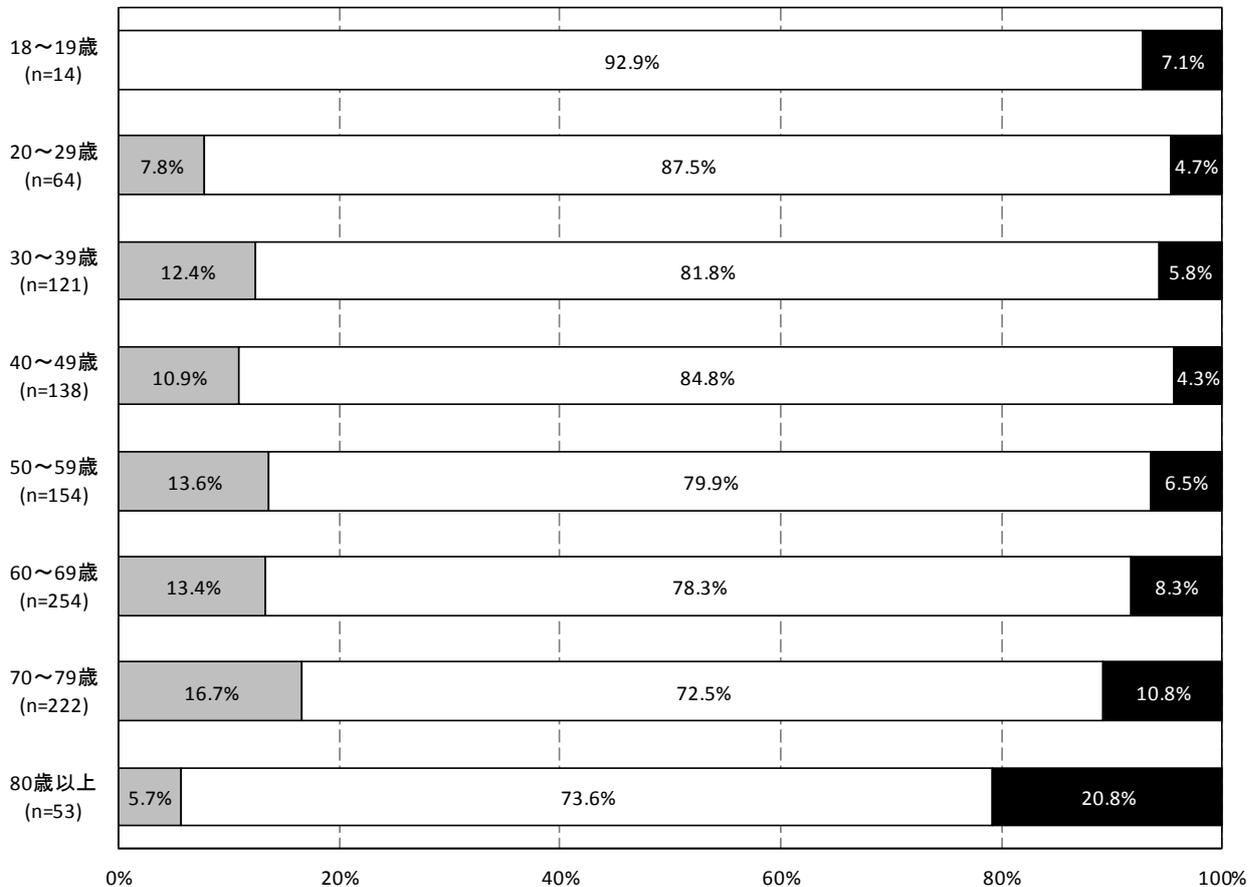
1. 知っている
2. 知らない

無料の肝炎ウイルス検査の実施について、「知っている」は12.8%、「知らない」は79.1%となっている。

年代別にみると、いずれの年代も「知らない」が70%を超えている。



<年代別>



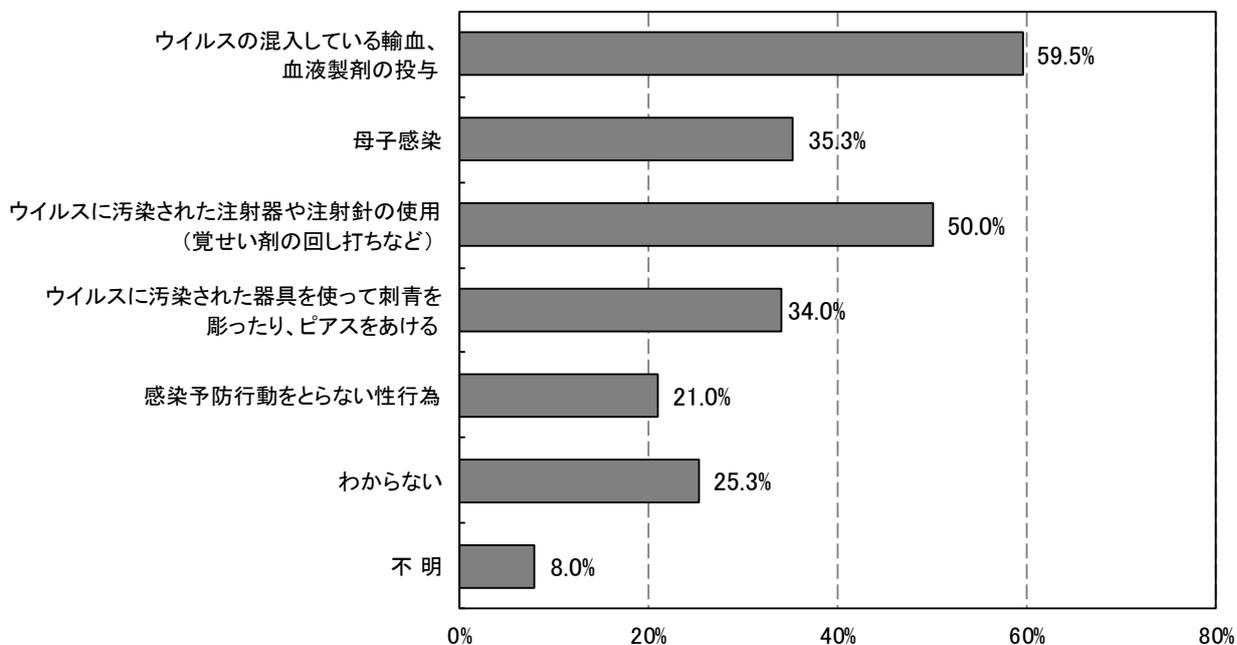
問 51 B型肝炎ウイルスの感染経路

問 51 B型肝炎ウイルスの感染経路として該当していると思うものを全てお選びください。

1. ウイルスの混入している輸血、血液製剤の投与
2. 母子感染
3. ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚せい剤の回し打ちなど）
4. ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスをあける
5. 感染予防行動をとらない性行為
6. わからない

B型肝炎ウイルスの感染経路について、「ウイルスの混入している輸血、血液製剤の投与」が59.5%と最も多い。他の項目で30%を超えているのは、「ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚せい剤の回し打ちなど）」（50.0%）、「母子感染」（35.3%）、「ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスをあける」（34.0%）の3項目となっている。

n=1027



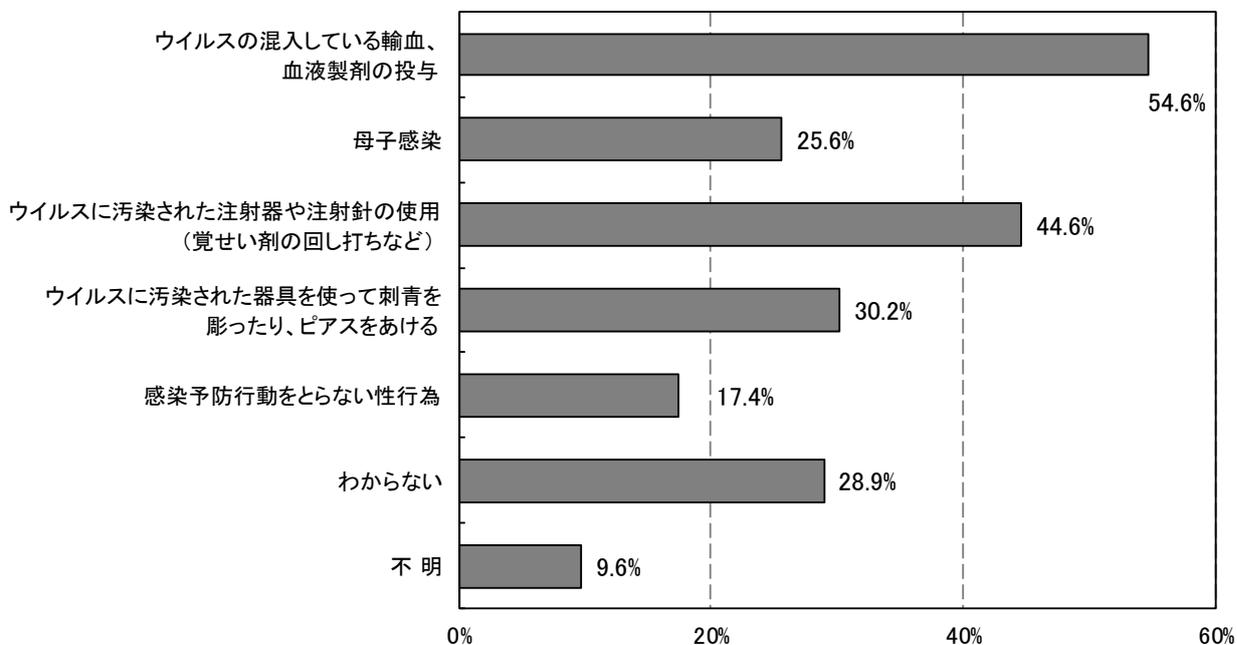
問 52 C型肝炎ウイルスの感染経路

問 52 C型肝炎ウイルスの感染経路として該当していると思うものを全てお選びください。

1. ウイルスの混入している輸血、血液製剤の投与
2. 母子感染
3. ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚せい剤の回し打ちなど）
4. ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスをあける
5. 感染予防行動をとらない性行為
6. わからない

C型肝炎ウイルスの感染経路について、「ウイルスの混入している輸血、血液製剤の投与」が 54.6%と最も多い。他の項目で 30%を超えているのは、「ウイルスに汚染された注射器や注射針の使用（覚せい剤の回し打ちなど）」（44.6%）、「ウイルスに汚染された器具を使って刺青を彫ったり、ピアスをあける」（30.2%）の 2 項目となっている。

n=1027



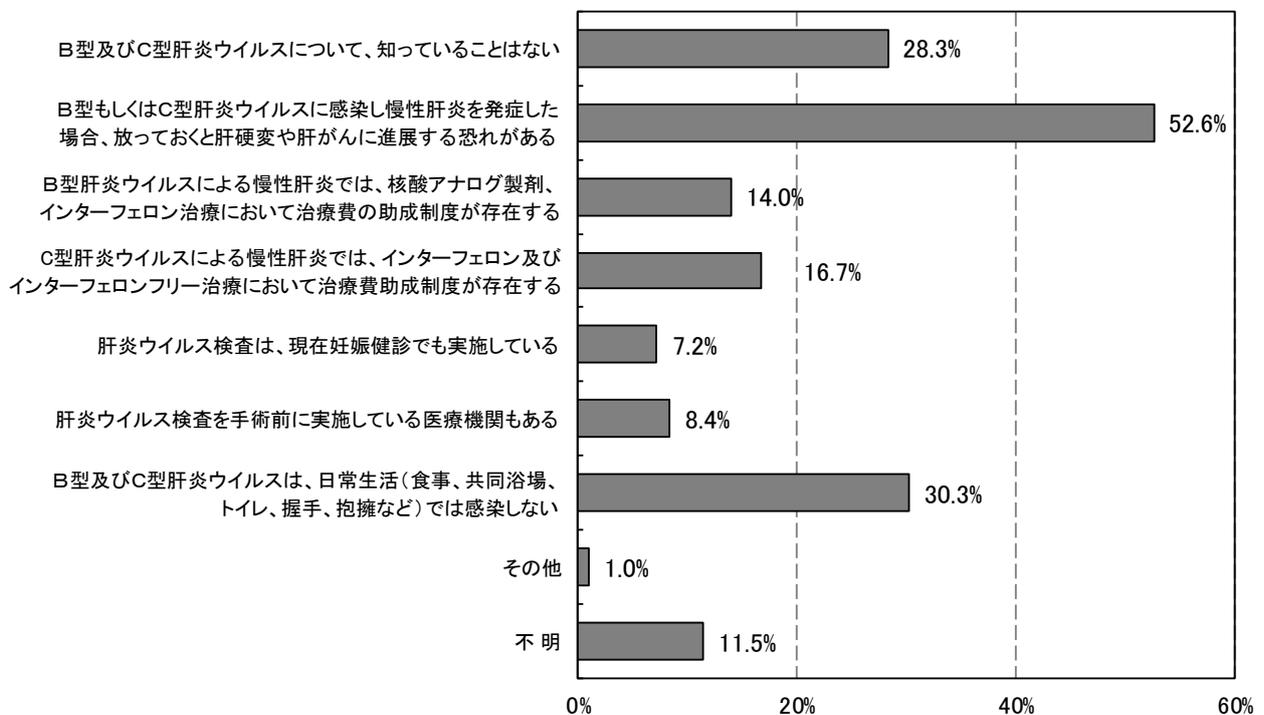
問 53 B 型及び C 型肝炎ウイルスの知識

問 53 あなたは、B 型及び C 型肝炎ウイルスについて知っていることは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. B 型及び C 型肝炎ウイルスについて、知っていることはない
2. B 型もしくは C 型肝炎ウイルスに感染し慢性肝炎を発症した場合、放っておくと肝硬変や肝がんに進展する恐れがある
3. B 型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では、核酸アナログ製剤、インターフェロン治療において治療費の助成制度が存在する
4. C 型肝炎ウイルスによる慢性肝炎では、インターフェロン及びインターフェロンフリー治療において治療費助成制度が存在する
5. 肝炎ウイルス検査は、現在妊婦健診でも実施している
6. 肝炎ウイルス検査を手術前に実施している医療機関もある
7. B 型及び C 型肝炎ウイルスは、日常生活（食事、共同浴場、トイレ、握手、抱擁など）では感染しない
8. その他（ ）

B 型及び C 型肝炎ウイルスについて知っていることは、「B 型もしくは C 型肝炎ウイルスに感染し慢性肝炎を発症した場合、放っておくと肝硬変や肝がんに進展する恐れがある」が 52.6%と最も多い。他の項目で 20%を超えているのは、「B 型及び C 型肝炎ウイルスは、日常生活（食事、共同浴場、トイレ、握手、抱擁など）では感染しない」（30.3%）、「B 型及び C 型肝炎ウイルスについて、知っていることはない」（28.3%）の 2 項目となっている。

n=1027



その他：「幼児の予防接種に B 型肝炎がある」、「B 型にはワクチンが存在する」など